

看護学科「地域定着枠(キャリア形成支援枠)」の概要

青森県立保健大学



地域定着枠(募集人員5名)

キャリア開発センター

キャリアサポートコーディネーター配置



<連携・協力・支援>



これからの地域に求められる看護職の育成

- ・地域の病院等の機能がわかる。
- ・地域の関係機関等との連携に強い。
- ・地域全体の医療を理解する。
- ・総合力・実践力を有する。



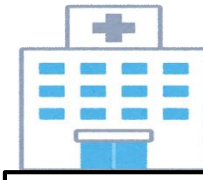
<連携・協力・支援>

<期待される成果>

- ①地域で安心して暮らせる地域包括ケアの推進
- ②青森県内で活躍し、定着する看護職の増加
- ③地域の看護連携の推進、看護の質の向上
- ④これからの地域に求められる、地域包括ケアを推進する看護職の育成と配置、地域医療構想の具体化・進展



急性期の病院
(中核病院、その他の急性期病院)



回復期の
中小病院



慢性期・在宅医療
の診療所等

キャリアサポートプログラムに基づき、急性期の病院を拠点に、回復期の中小病院、慢性期・在宅医療の診療所等を5年～9年間ローテート勤務する。

<①モデルプログラムの作成・提示>

各地域の特徴や課題を踏まえ、その地域に求められる看護職を育成するモデルとなるキャリアサポートプログラムを作成し、学生に提示する。

<④学生の意向を確認し、プログラムの作成・提示>

キャリアサポートコーディネーターと協議しながら、必要に応じ学生と面談し、その意向を確認し、キャリアサポートプログラムを作成し、提示する。

<⑤プログラムの運用、進捗管理、支援>

ローテート勤務開始後は、キャリアサポートコーディネーターとともに、プログラムの運用、進捗管理、支援等を行う。

<②面談・相談・意向聴取・支援>

地域定着枠学生と面談し、相談に応じながら、卒業後の勤務の意向を聴取する。

<③協議・調整>

学生の意向を確認し、地域の急性期病院と協議・調整する。

<⑤プログラムの運用、進捗管理、支援>

ローテート勤務開始後は、地域の急性期病院とともに、プログラムの運用、進捗管理、支援等を行う。